

<奨学金給付型大学公式海外派遣プログラム>  
令和5(2023)年度  
海外留学支援制度(協定派遣)による学生交流プログラム募集要項  
～フライブルク教育大学(ドイツ)～

## 1. 概要・目的

教師の多忙化や教育問題の複雑化に伴い、特に2014年の教育再生会議第五次提言以降、「チーム学校」という学校運営理念が重視されている。その動向に鑑み、愛知教育大学でも、2017年度より教育支援専門職養成課程を設置している。同課程においては、行政、福祉、心理の三つの領域から学校教育を支える役割となれるよう、関係の専門知識と技能を身に付けることを目標としている。同時に、教員を目指す学生にも、「チーム学校」への意識づけを強化し、教員同士の協働や幅広い視点からの教職と学校の理解を促しているところである。

他方、ドイツ連邦共和国では、特に2000年代の学校の全日制化に伴い、多職種協働という意味でのTeam in Schuleの重要性が高まり、日本に先行してその整備が進み、議論も蓄積されている。

以上のような背景の下、本プログラムでは、ドイツの「チーム学校」の姿を実際に目にして、学校関係者や同年代のフライブルク教育大学学生との対話も行い、日本での「チーム学校」のあり方を考える。具体的には、以下のことを達成目標とする。

(1) ドイツの各種教育機関(小学校、中学校、高等学校、シュタイナー学校、大学等)を訪問し、適宜関係者と意見交換する。

(2) フライブルク市内の教育関係行政機関(フライブルク市学校局(Schulamt Freiburg)、フライブルク県庁学校課(Regierungspräsidium Freiburg)、バーデン＝ヴュルテンベルク州の文部省(Kultusministerium Baden-Württemberg)等)を訪問し、適宜関係者と意見交換する。

(3) 本学の学術交流協定校であるフライブルク教育大学の学生・教員と、同国の学校運営や教育制度について意見交換を行う。

(4) 1～3をもとに、日本における「チーム学校」の在り方について提言を行う(帰国後に発表会を行う)。

(5) 英語だけでなく、初歩的なドイツ語も駆使してコミュニケーションを取る(本プログラム参加に当たり一定の語学レベルに達することを求める)。

さらに、出発前と帰国後にも遠隔ミーティングシステム等を活用して、一定期間交流を行い、海外派遣の成果を実りあるものとする。

## 2. プログラム内容

### (1)期間

2023年9月(3日・10日・17日いずれかの日出発)～3週間

※現時点では日程が確定しておりません。先方大学の事情及び航空機の運航状況などを考慮して決めていきます。

※日程の一部は本学教員が同行し、滞在中は現地関係者もサポートします。

## (2)内容

- ①事前指導（海外渡航に関する注意事項、ドイツの教育制度、連邦と州の関係等）
- ②事前準備（パスポート、海外健康保険、ドイツの気象等）
- ③交流（フライブルク教育大学の学生等）
- ④歴史・文化視察・体験（フライブルク旧市街、環境対策、黒い森、自動車産業等）
- ⑤事後指導（現地の経験の反省会、報告書の作成等）

※質問等がある場合は、ガバンナンス教育講座 オリバー・マイヤー教授  
([omayer@aecc.aichi-edu.ac.jp](mailto:omayer@aecc.aichi-edu.ac.jp)) までメールでお問い合わせください。

## 3. 募集人数

最大5名

## 4. 募集対象者

本プログラムへの参加を希望し、以下の要件を満たす者とする。

- (1) 日本国籍を有する者又は日本への永住が許可されている者  
(パスポートを所持しない場合は参加が確定してから取得してください)
- (2) 本学に在籍する学部1～4年生、大学院1、2年生で心身ともに健康で海外滞在に支障がない者
- (3) 学業成績が優秀で人物等に優れており、かつ、次に定める方法で求められる、前年度の成績評価係数が3.00満点で2.30以上であること（大学院1年生の場合は、出身大学の成績から算出）。  
学部1年生の場合は別途対応しますので国際交流センターに相談すること。  
※① [成績評価係数の算出方法] をもとに「成績評価ポイント」を換算し、小数点第3位を四捨五入して算出する。  
② 成績評価係数が2.00以上2.30未満の場合は事前に国際交流センターに相談すること。
- (4) 本プログラムの事前・事後指導、事前準備に必ず参加できる者
- (5) 本プログラムに係る報告書等の作成に協力できる者
- (6) 申込前に大学の教務企画課、キャリア支援課及び学内関連部署に正規授業、大学の体験活動、教育実習等の実施スケジュールを確認し、支障なく参加できる者
- (7) 参加にあたり、ご家族の同意が得られた者

## 5. 費用

合計：約60万円

[内訳]

渡航費：約28万円 ※航空券の価格などによる費用の変動あり

滞在費：1泊約6,000円

交通費：約5万円

その他：飲食費、その他生活をしていく上でかかる経費など

海外旅行保険料：約1万円

なお、日本学生支援機構から奨学金として、一人当たり8万円を支給します。ただし、最多5名まで、いずれも帰国後の支払いとなります。

※上記の金額は令和5年5月時点のものです。

※旅行代金の支払い時の為替相場の状況により金額に変更が生じる可能性があります。予めご了承ください。

## 6. 募集期間

令和5年5月23日（火）～令和5年6月15日（木）

## 7. 応募手続き

本プログラムへの参加を希望する者は、以下のサイトからお申込みください。

注：

- 1) 大学の [auecc.aichi-edu.ac.jp](http://auecc.aichi-edu.ac.jp) アカウントのサインインが必要です。
- 2) 成績証明書、パスポートと語学資格の証明書等を事前にご用意ください。（用意できる方のみで結構です）

<https://forms.office.com/r/HQXdN1RTFX>



## 8. 選考方法：

書類選考（必要に応じて面接を実施する場合があります）

## 9. 申込書類提出先・問合せ先

国際交流センター（教育交流館1階）

T E L：0566-26-2178、2179

E-mail：[kokusaikoryu\[at\]m.auecc.aichi-edu.ac.jp](mailto:kokusaikoryu@m.auecc.aichi-edu.ac.jp)

（※[at]記号を「@」に書き換えてメールを送信してください。）

### 【成績評価係数の算出方法】

成績評価	S	A	B	C	D
評価ポイント	3	3	2	1	0

（計算式）

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{前年度の総登録単位数}}$$